

山下多恵子文学講座Ⅶ

「読む」ことの楽しさ、 「想う」ことの喜び ——芝木好子の世界

芥川賞作家の芝木好子は、昭和という激動の時代をひたむきに生きる女性たちの姿を、愛情と共感を込めて描きました。作品の中の女性たちの境遇は様々ですが、「何か」に一途に情熱を傾けているということが共通しています。いくつもの男女の愛のかたちや感情の機微も、みずみずしい筆致で綴りました。作品も引用しながら、芝木文学の魅力に迫ります。

日時／10月25日(土)

午後1時30分～3時

会場／十日町情報館 視聴覚ホール

対象／中学生以上 入場料／無料

定員／先着50人 (申込用紙に必要事項を記入してお持ちください。電話、FAXでもお申込みできます。席に余裕があれば当日でもOKです)

講師／山下多恵子(やました・たえこ)

1953(昭和28)年、岩手県栗石町生まれ。国際啄木学会理事。日本ペンクラブ会員。日本近代文学会会員。十日町市在住。

著書に『海の蠍』、『忘れな草』、『裸足の女』、『啄木と郁雨』、『あふれる』、『かなしき時は君を思へり』、編著に『土に書いた言葉 吉野せいアンソロジー』、『おん身は花の姿にて 網野菊アンソロジー』などがある(すべて未知谷刊)。最新刊は編著『恋する昭和 芝木好子アンソロジー』(未知谷、2021)。

【主催・申込み・問合せ】

十日町情報館

〒948-0072 十日町市西本町二丁目1番地1
TEL/025-750-5100 FAX/025-750-5103